

## 早期調査で、女性のニーズに応える

被災女性を対象とした調査によって、発災によりそれまでの日常を失った女性たちは、様々な面で生活の質に対するニーズがあるにもかかわらず、それを我慢している傾向にあることがわかった。緊急支援物資として女性には生理用品が避難所などで配布されるが、数量の問題に加え、運営の男性職員には要請しづらいなどの問題がある。災害の状況や、地域や季節によりニーズは異なるため、発災後、対象者に配慮した上、早い段階で具体的なニーズ調査を実施することが重要である。

### ｜サイズの合わない下着

女性支援団体の担当者が避難所等を回り、直接避難所にいる被災女性を対象に早期にニーズ調査を行ったところ、「物資は来るけれど、サイズの合う下着がない」「サイズが合わないで直したいけど、裁縫箱がない」などの声があった。下着等は配布されるものの、利用者のサイズや体質、要望に合っていないなど支援物資についての問題が分かってきた。

多くの女性が従来の生活で使用していたものに近いものが配布されていないが、それを口には出せず、我慢していた。

### ｜ニーズを聞き取る

「女性たちの悩み、困りごととは何か。」かつて、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震などの災害時に女性が経験した困難を基に、防災・災害復興対策に必要な女性の視点をまとめた経験のある女性支援団体の担当者は、発災後、いち早くニーズ調査を開始し、従来の生活に近い必要品を配布できるよう、事前に要望を情報収集した。特に下着などの必需品は大量の支援物資の中から、回答者個々のニーズに合うものを選びだして配布したり、生理用品、化粧品、裁縫箱などの配布を行った。

調査と同時に女性ならではの悩み相談も行った。

### ｜活動のポイント！

- 発災後、早い段階で具体的なニーズ調査を実施する。
- 被災した女性から個々の支援物資の要望を受けるリクエスト票は、身長や体形、年代の他、使用している化粧品や生理用品のメーカー、下着のサイズなどをチェック型式で回答できるよう、回答、集計しやすいようにする。
- チェック票の回収は折り畳み式で記載（プライバシー）が漏れないようにする。
- 配付の際は、個人ごとに中身が見えにくくする工夫やなるべく女性スタッフが配るなど、女性の視点に立った配慮が必要である。

### ｜参考事例

- [復興庁 男女共同参画の視点からの復興～参考事例集～No.94](#)